

史跡松江城の概要

1. 史跡指定の内容

名 称：松江城

指 定 年 月 日：昭和 9 年（1934）5 月 1 日

追加指定年月日；平成 3 年（1991）4 月 3 日

平成 25 年（2013）10 月 17 日

平成 26 年（2014）10 月 6 日

令和 4 年（2022）11 月 10 日

所 在 地：松江市殿町 1 番 10 ほか

指 定 面 積：206,833.53 m²

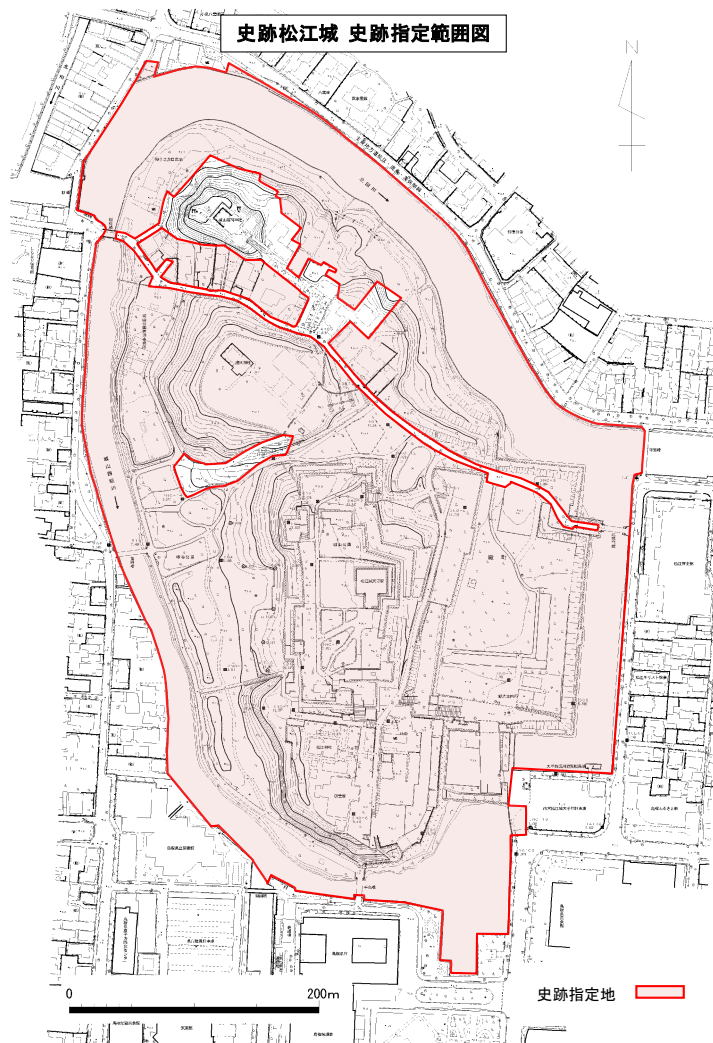
指 定 基 準：二．都城跡、国郡庁跡、城跡、官公庁、戦跡その他政治に関する遺跡

詳 細 解 説：松江市ノ西北部ニアリ

慶長年間堀尾吉晴ノ築城ニ係リ亀田山ヲ最高点トセル平山城ナリ

城構ハ本丸ニ丸三丸ヲ備ヘ本丸ニハ五層ノ天守閣ヲ存シ石壘、濠等旧形ヲ存スル處尠カラズ山陰地方ニ於ケル近世城郭トシテ代表的ノモノナリ

（国指定文化財等データベースより）



2. 史跡指定地内の他の指定文化財

(1) 国宝（建造物）

名 称：松江城天守

員 数：1 棟

構造及び形式等：四重五階、地下一階付、本瓦葺
南面附櫓 一重、本瓦葺

所 在 地：島根県松江市殿町 1 番地続 6

指 定 年 月 日：平成 27 年（2015）7 月 8 日

（国宝保存法：昭和 10 年（1935）5 月 13 日 ※文化財保護法で重要文化財に）

附 指 定：祈祷札 2 枚（慶長一六年正月吉祥日）

鎮宅祈祷札 4 枚

鎮物 3 点（祈祷札 1、槍 1、玉石 1）

解 説：松江城天守は、中国地方に唯一残る荘重雄大な四重五階の天守である。最近に再発見された二枚の祈祷札から、慶長 16 年（1611）の完成が明らかとなった。通し柱による構法などの独自の建築的特徴を有し、近世城郭最盛期を代表する建築として極めて高い価値がある。防御性を重視した中世山城から、高層化して近世都市の基軸へと進展してきた我が国の城郭文化の様態をあらわしており、深い文化史的意義がある。

（国指定文化財等データベースより）



(2) 島根県指定有形文化財（建造物）

名 称：興雲閣

員 数：1 棟

構造及び形式等：木造・二階建

竣 工：明治 36 年（1903）9 月

所 在 地：島根県松江市殿町 1 番地 59

指 定 年 月 日：昭和 44 年（1969）2 月 18 日

解 説：松江市が松江市工芸品陳列所として建てた建物で、明治 35 年（1902）12 月に着工し、翌 36 年（1903）9 月に完成した。当初、明治天皇の行在所に使用する目的でつくられたため、装飾・彫刻を多く用いた華麗な仕上げとなっている。結果的には天皇の巡幸は実現しないが、明治 40 年（1907）、皇太子嘉仁親王（のちの大正天皇）の山陰道行啓にあたって、同年 5 月 22 日から 25 日まで御旅館となり、迎賓館としての役割を果たした。

その後、明治 45 年（1912）に正面の階段を奥に移動するなどの改修が行われ、松江市の公的な歓迎所や各種の展覧会場・会合に使用された。昭和 48 年（1973）からは「松江郷土館」として活用してきたが、平成 23 年（2011）3 月に閉館し、階段室を移設して現在の形態となった明治 45 年に復原するとともに、建物そのものの持つ歴史と魅力を生かした新たな活用のため、平成 25 年度から平成 27 年度にかけて保存修理工事を行った。

（興雲閣ホームページより）

